



プレスリリース

※本プレスリリースは、現地時間 2023 年 9 月 5 日に米国で発表された[プレスリリース](#)の抄訳版です。

BMW グループ、次世代自動運転プラットフォームの実現に向け AWS を採用

**AWS と Qualcomm の Snapdragon Ride Vision プラットフォームを
活用して、次世代車両の開発、市場投入までの時間を短縮し効率性を向上**

(シアトル & ミュンヘン – 2023 年 9 月 5 日) Amazon.com, Inc. (NASDAQ: AMZN) の関連会社である Amazon Web Services, Inc. (AWS) は、BMW グループが自動運転プラットフォームの実現に向け AWS を推奨クラウドプロバイダーに選定したことを発表しました。BMW グループは、AWS を活用して次世代の先進運転支援システム (ADAS) を開発し、2025 年に販売予定の次世代車両「ノイエ・クラッセ」の新機能の革新を推進します。クラウドベースの新システムは、AWS 上で BMW の既存のクラウドデータハブを利用し、AWS のコンピューティング、生成系 AI、IoT、機械学習、ストレージなどを活用して、高度に自動化された BMW 車両の提供を加速させます。

ADAS は早期警告システムのほか、自動車の運転をより安全かつ快適にするための機能により、今日のドライバーを支援しています。こうしたシステムは高度なソフトウェアや車載センサーを使用して、ドライバーに警告を出し、自動ブレーキやステアリング機能で走行中の車両性能を向上させるよう設計されています。AWS 上で次世代の ADAS プラットフォームを開発することで BMW グループのエンジニアは、顧客の要望により迅速に応えられるようになるだけでなく、ドライビングエクスペリエンスを向上させる新たな機能を提供できるようになります。クラウド技術がもたらす効率性により、BMW はノイエ・クラッセの機能を改善し続け、ドライバーは走行中のエクスペリエンスにより集中することができます。

BMW グループは、Qualcomm Technologies のオープン・モジュールで構成された Snapdragon Ride プラットフォームをベースにした、次世代の自動運転システムを共同開発しています。システムには Ride Vision の統合ソフトウェアスタックが搭載されており、車両の 360 度感知を可能にします。AWS や Qualcomm Technologies と連携することにより BMW グループのエンジニアは、エンドツーエンドの自動運転開発プラットフォームで先進のハードウェアやビジョンソフトウェア、クラウドの様々な機能を活用することができます。BMW グループの自動運転プラットフォームをクラウド上に構築することで、グループの車載ソフトウェアチーム内における開発のサイロ化を回避できるほか、サプライヤーとのよりグローバルな連携を促進して、自動運転のイノベーションも加速させることができます。

BMW グループは、自動運転機能の開発において生成され使用されるデータ量の大幅な増加に対処するため、AWS を活用してその機能拡張も進めていく予定です。自動車メーカーはアダプティブ・クルーズ・コントロール (車間距離制御装置) やパーキングアシスト機能、パイロット運転をはじめ、より高いレベルの自動運転機能の導入を進めており、車両が生成するより多くのデータをエンジニアリングチームが分析し、将来の機能開発に活用することになります。クラウドベースのインフラストラクチャは、車線逸脱防止支援システムや自動車線変更、ハンズフリー運転など、BMW グループが新たな機能を開発して、これまでより短期間で提供できるようにするための基盤も提供します。



AWS のサービスは、共通のリファレンスアーキテクチャに基づく、この新しいスケーラブルな自動運転プラットフォームの実現を支援し、開発ライフサイクルを加速させ、その範囲を BMW モデル全体に拡大します。例えば、プラットフォームは Amazon Simple Storage Service ([Amazon S3](#)) で何百万マイル分にもおよぶリアルタイムのドライビングデータの処理やカタログ化を行い、保存のために必要なフレームワークを提供します。エンジニアやデータサイエンティストは、クラウドやエッジで機械学習モデルの構築、トレーニング、デプロイを行う AWS の [Amazon SageMaker](#) を活用して、関連するドライビングシーンを検索、特定、視覚化し、モデルの開発、トレーニングを行うことができます。さらにエンジニアは、AWS のコンピュートインスタンスで、検証のための大規模なシミュレーションを開発することも可能です。BMW グループはこのアプローチにより、ソフトウェアの新しいバージョンをより効率的にテスト・検証を行いシステムの安全性を確保して市場投入までの期間を短縮できます。

AWS の自動車・製造担当ゼネラルマネージャーである Wendy Bauer は次のように述べています。「自動運転は利便性を高めるためだけでなく、運転支援技術を提供することでケガを防止して人の命を救うことを目指しています。BMW グループがこうしたシステムを世界的な規模で導入していくには、学習やイノベーションに加えて、膨大な量のデータ処理・分析ができ、自動車メーカーがより安全で信頼性の高い自動運転や ADAS のシステムを開発できるアプローチが求められます。BMW グループは AWS や Qualcomm Technologies と協力することにより、安全で高品質かつ高性能な、そして高度な自動運転機能をお客様に提供するというビジョンを実現するために必要なツールを手に入れることができます」

アマゾン ウェブ サービスについて

アマゾン ウェブ サービス (AWS) は約 15 年にわたり、世界で最も包括的かつ幅広く採用されたクラウドサービスになっています。AWS は、コンピューティング、ストレージ、データベース、ネットワーク、分析、機械学習および人工知能 (AI)、モノのインターネット (IoT)、モバイル、セキュリティ、ハイブリッド、仮想現実 (VR) および拡張現実 (AR)、メディア、ならびにアプリケーション開発、展開および管理に関する 240 種類以上のフル機能のサービスを提供しています。AWS のサービスは、32 のリージョンにある 102 のアベイラビリティゾーン (AZ) でご利用いただけます。これに加え、カナダ、マレーシア、ニュージーランド、タイの 4 つのリージョンにおける 12 の AZ の開設計画を発表しています。AWS のサービスは、アジリティを高めながら同時にコストを削減できるインフラエンジンとして、急速に成長しているスタートアップや大手企業、有数の政府機関を含む数百万以上のアクティブなお客様から信頼を獲得しています。AWS の詳細については以下の URL をご参照ください。

<https://aws.amazon.com/>

Amazon について

Amazon は 4 つの理念を指針としています。お客様を起点にすること、創造への情熱、優れた運営へのこだわり、そして長期的な発想です。Amazon は、地球上で最もお客様を大切にしている企業、そして地球上で最高の雇用主となり、地球上で最も安全な職場を提供することを目指しています。カスタマーレビュー、1-Click 注文、パーソナライズされたおすすめ商品機能、Amazon プライム、フルフィルメント by Amazon (FBA)、アマゾン ウェブ サービス (AWS)、Kindle ダイレクト・パブリッシング、Kindle、Career Choice、Fire タブレット、Fire TV、Amazon Echo、Alexa、Just Walk Out technology、Amazon Studios、気候変動対策に関する誓約 (The Climate Pledge) などは、Amazon が先駆けて提供している商品やサービス、取り組みです。Amazon について詳しくは Amazon Newsroom (<http://amazon-press.jp>) および Amazon ブログ (<http://blog.aboutamazon.jp>) から。